

平成29年7月31日

研修報告書

まつど自民

研修:生ごみの資源化の取組について

日時:平成29年7月31日(月) 15時~16時半

場所:恵庭市週末処理場

【研修報告】



会派まつど自民で恵庭市週末処理場を視察しました。

松戸市にも常盤平週末処理場があります。

何とか生ごみの量を減らし、かつ循環型社会の構築に向かいたい…という思いから今回の視察をしました。

平成19年 ごみへらし市民会議の開催

平成20年 恵庭市循環型社会形成推進施策の策定

平成21年~平成24年 生ごみ資源化処理施設の整備

平成23年~平成24年 生ごみ分別収集に係る市民説明会の開催

職員の説明によると、特に大変だったのが、平成23年~平成24年の市民説明会。

一日3班(1班2名)にわかれて、市内115箇所くまなく説明会をしました。

これは特に市長からの強い指示があったわけではなく、職員が主体的に取り組んだとのこと。敬遠されやすいゴミの説明会を職員が主体的に行ったことは大変評価できます。

またバイオガスの利用を行うことで、生ごみの減量とメタンガスの発生抑制ができる。そこで、ゴミの有料化に踏み切りました。大変勇気ある決断だと思っています。

実際に週末処理場を見学しました。



これがバイオガス化プラントです。



生ごみ処理のフローを一つずつ丁寧に説明していただきました。



生ごみの受入口です。

(まとめ)

今回の視察を通して、循環型社会の構築が重要であることがわかりました。

しかし、これをやるかやらないかは執行部側、議会側の強いリーダーシップが必要ということも同時に学びました。どうしても市民から敬遠されがちなゴミ問題。これを逃げることなく、正々堂々と正面から説明会を開催していく。当然最初は叱られました。が、循環型社会の重要性を訴え続けることで、次第に理解をされ、ゴミの有料化に至ったとのことでした。

私たち議員に今できること…。

それは循環型社会構築に向けて、ゴミ有料化、一人ひとり市民へ丁寧に説明をしていくことだと思います。

以 上